

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	学術研究支援事業		事業開始年度	平成5年度		作成責任者
担当部局庁	研究振興局		担当課室	学術機関課		学術機関課長 森田正信
会計区分	一般会計		上位政策	学術研究の振興		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	動物実験施設や機器分析センター等の大学等における学術研究支援組織に対し、学術政策の動向や遵守すべき規則等についての周知・啓発を行い、我が国の学術研究の水準の向上を図る。					
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	各学術研究支援組織の代表者が参加する会議等へ職員等を派遣し、実施する。					
実施状況	(平成21年度) ・学術研究支援組織の代表者が参加する会議等への出席 6回 ・今後の学術研究の推進に関する勉強会 3回					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	3.0	2.9	2.6	2.7	-
	執行額	2.4	2.6	3.2		
	執行率	80.0%	89.7%	123.1%		
	総事業費(執行ベース)	2.4	2.6	3.2		
自己点検	支出先・ 用途の把握 水準・ 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。 ・活動内容については、復命書により把握している。 ・諸謝金の支出に当たっては、議事録等により出席を確認した上で支出している。 				
	見直しの 余地	<ul style="list-style-type: none"> ・学術政策の動向や規則等の内容を踏まえ、周知方法が効率的な手段かどうか検討すべき。 ・これまで以上に緊急性や必要性に基づき購入物品の選別を進め、効率的な執行に努めるべき。 				
予算 チームの 監視・ 効率化 の 所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業評価の観点:この事業は、動物実験施設や機器分析センター等の大学等における学術研究支援組織に対して職員等を派遣し、学術政策の動向や規則等についての周知・啓発を行う長期継続事業である。 2. 所見:長期継続事業であり、研究機関を対象に職員等の派遣を行う事業が本事業以外に存在していることから、いったん廃止し整理統合すべきである。その際、これまでの事業の成果を適切に検証した上で効率化を図るなど、予算を縮減すべきである。 					
補記	<ul style="list-style-type: none"> ※ 図書・雑誌代(追録)の増加に伴い執行率が100%を超えている。なお、 ・予算額を上回る執行については、他の事業の予算を流用している。 					

A. 文部科学省
3. 2百万円

諸謝金	0.3百万円
職員旅費	0.7百万円
委員等旅費	0.2百万円
庁費	2.0百万円

（学術研究支援組織の代表者が参加する会議への出席及び外部有識者との意見交換などに必要な旅費、諸謝金等を措置）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する）
（単位:百万円）

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 文部科学省			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
図書・購読費	図書・雑誌や定期刊行物の購入	1.6			
職員旅費	職員へ支出する旅費	0.7			
消耗品費	事務に必要な文房具等の購入	0.4			
諸謝金	外部有識者等へ支出する謝金	0.3			
委員等旅費	外部有識者等へ支出する旅費	0.2			
計		3.2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0